

様式2【後期】

令和6年度中堅教諭等資質向上研修【後期】 教科指導研修シラバス 高等学校 水産科 教科指導研修

(研修者：高等学校1人)

期 日	時 間	研 修 内 容	会 場
第1日 6月21日 (金) ※農業科・家庭科・工業科 ・商業科・看護科・福祉科 と合同 *農業科 と合同	9:00~ 9:30	受付<総合教育センター第10講義室前>	総合教育センター 第10講義室
	9:30~ 9:40	オリエンテーション	
	9:40~12:00 ※	【講義：産業教育における評価の在り方】 講師 大学准教授	
	12:00~13:00	休憩	第1情報教育 討議室
	13:00~14:00 *	【講義：農業・水産における教科指導と評価の在り方】 総合教育センター教科研究室長	
	14:00~14:50 *	【講義：愛知県の農林水産業の最新動向】 講師 愛知県農業水産局 農政部 農政課担当課長 総合教育センター教科研究室長	
	14:50~16:10 *	【演習・講義：OJTを生かした教科指導の在り方】 講師 県立高等学校教頭 総合教育センター教科研究室長	
16:10~16:30 *	教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡		
第2日 8月2日 (金)	9:00~ 9:30	受付<県立三谷水産高校玄関>	県立三谷 水産高校
	9:30~ 9:40	オリエンテーション 総合教育センター教科研究室長	
	9:40~12:00	【実習：小型船舶・特殊小型船舶の安全運航について】 講師 県立高等学校教諭（2名） 総合教育センター教科研究室長	
	12:00~13:00	休憩	県立三谷 水産高校
	13:00~14:00	【講義：学習指導要領と水産教育について】 総合教育センター教科研究室長	
	14:00~15:10	【研究協議：OJTを生かした教科指導の在り方】 講師 県立高等学校教頭 総合教育センター教科研究室長	
	15:10~16:10	【講義：水産教育の魅力と水産教員に望むこと】 講師 県立高等学校教頭 総合教育センター教科研究室長	
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡	

2 連絡事項（課題等）

連絡事項 (課題等)	第1日	【持ち物について】 ・愛知県教育委員会が配備したSurface Goまたは所属校で管理職から許可されているタブレット端末 ※校内で持ち出しの手続きを行うこと。ただし、愛知県教育委員会が配備したSurface Go以外は「情報端末等持ち込み使用管理票」（総合教育センターのウェブページからダウンロードを提出すること。 【課題及び提出について】 ・なし
	eラーニング課題	愛知総合教育センターeラーニング講座 「産業教育における評価の在り方」(80分) 視聴期間： 令和6年6月21日(金)～10月25日(金)
	第2日	【持ち物について】 ・授業実践の学習指導案（当日3部持参） ・実習服、帽子、小型船舶・特殊小型船舶の運転に適した靴、軍手、タオル（紫外線対策用サングラス可） 【課題の提出について】 ・提出課題 「OJTを生かした教科指導の在り方」 ※第1日の教科指導研修を取り入れた内容とする ・課題様式 A4判1枚（下記参照） ・提出期限 令和6年7月10日(水) 必着 ・提出方法 郵送または持参3部（当日1部持参）

3 課題様式（記入例）

令和6年度中堅教諭等資質向上研修【後期】 教科指導研修 高等学校水産科

受講番号	
テーマ	OJTを生かした教科指導の在り方【水産・<授業科目>】
1 授業実践科目	学年 学科 (章立ては、左記のとおりとする)
2 本時の目標	
3 本時の展開	
(1) ○○○○	個人情報の取り扱いに十分留意し、特に生徒の個人名及び男女の区別は記載しない。
(2) ○○○○	
ア ○○○	
4 本時の評価	
5 OJTを生かした場面	
6 成果と課題	
7 その他（質問など）	

(注)・受講番号は、実施要項添付の名簿を参照する。

- ・A4判縦長横書き。枚数は1枚（2ページになる時は両面印刷とする）。
- ・字の大きさは、10.5ポイント。
- ・文字数は、1行35字から45字程度、1ページ30から40行程度。
- ・ページの余白は、上、左右20mm、下23mmとする。

4 課題送付先

〒470-0151

愛知郡東郷町大字諸輪字上鉾68番地

愛知県総合教育センター研究部教科研究室（雨宮） 宛て

※封筒の表左隅に「中堅教諭等資質向上研修【後期】高等学校水産科課題在中」と朱書きする。

5 問い合わせ先

担当 研究部教科研究室（雨宮）

電話 0561-38-9504（ダイヤル）